

特集

広報による リレーリーダー 地域支え合いリーダー

つなげる・つながる

第七回

ボランティアを通じ、人間力の必要さを知る。

日本福祉大学付属高等学校 保健体育科教諭

野球部監督

山本 常夫さん



4年前、鹿児島県神村学園高等学校から日本福祉大学付属高校へ赴任し、現在野球部監督として指導をしています。部員80名で活動しており、未経験者大歓迎、やる気のある学生と一緒に日々練習に励んでいます。

昨年度は、コロナ禍で野球の練習も少ない中、トレーニングを積み重ね、土日は地元の少年野球チームの練習に参加し、キャッチボール、審判を一緒にするなど多くの少年とつながり、ふれあいの時間を作りました。

小学生と高校生の身長差から、同じ目線にあわせて指導することや、大きな声を出すことなど互いに成長しています。小学生からお兄ちゃん待ってたよと声をかけてくれることで、癒やされ、信頼関係も増し、先輩としてより野球に力が入っています。

昨年度、東邦高校と対戦した際、5対6で負けてしまいました。もう少し力を付けければ、勝てる希望が部員たちに湧いてきました。

地域とのつながりでは、高齢者施設等でのボランティア活動を経験させてあげたいです。

高齢者と共に時間を過ごし、高齢者が子ども達と過ごす時間を楽しいと思



少年たちとの野球風景

えるようなサポートもしていきたいです。

そして、阿久比球場へ野球の応援に来てもらいたいと思っています。福祉とつながり、野球を通じて「ありがとう、ごめんなさい」と言える人間にと期待しています。

今回は、少年野球チームKONBEIスポーツクラブ
代表 伊藤英之さんへバトンタッチします。

生活支援

コーディネーター からのメッセージ



◎高校球児が地域に貢献する姿は地域・住民を明るく元気にしてくれますね。

令和2年度 手話奉仕員養成講座・入門編が開催されました！

美浜町、武豊町、南知多町社会福祉協議会主催の「手話奉仕員養成講座・入門編」が令和2年10月16日～令和3年3月5日 毎週金曜日・全20回で開催されました。

この講座は、聴覚障害、聴覚障害者の生活及び関連する福祉制度等についての理解と認識を深めるとともに、手話で日常会話を行うために必要な手話語彙及び手話表現技術の入門レベルの習得を目指しました。また、入門編の受講者がレベルアップを行うために「令和3年度手話奉仕員養成講座・基礎編」を5月21日～11月5日まで開催しています。



「ありがとう！」
手や顔の表情などで相手と通じ合える手話、コミュニケーションの輪が広がりました。

講座では、手話による挨拶や簡単な日常会話を学んだり、聴覚障害者の日々の生活や防災の取り組みを知り、手話奉仕員としての役割や今後の活動について考えるきっかけとなりました。

20回という長い講座でしたが、講師と受講者同士、和気あいあいとした雰囲気ですべての時間を過ごすことができました。

●問合せ 社会福祉法人美浜町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 田中 ☎83-2066
役場福祉課 内線361・362